

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	病院到着時、救急ストレッチャーから被救護者を落下させそうになった事例
3. 体験した事例の中心的要素	ストレッチャー足側の脚が、十分に出ていない(展開していない)状態で、更に引き出した。
4. 体験した事例の原因・理由	数多く出動している中で、集中力を欠き油断した結果と思われる。日常の訓練でも伝えていたことが、経験の浅い職員には大変重要なことだと伝わっていなかったのではないかと。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成27年1月20日 午後4時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：病院の救急入口
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落、その他：被救護者がストレッチャーから落下するかもしれない。
7. 事例体験時の活動	救急現場活動中期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	病院へ引継
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[20]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[1]年、階級[消防士] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[50]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[25]年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[47]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[25]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	ストレッチャー足側を持ち引き出した	
経過2	B	ストレッチャー頭部右側に位置し、補助	
経過3	C	ストレッチャー頭部左側に位置し、補助	
経過4	A	脚が完全に展開しないまま更に引き出した	
経過5	B	頭部側の脚もロックがかからず、そのままスト	
経過6		レッチャーが下がりそうになるのを、持ち上げる	
経過7	C	Bの隊員と同様に持ち上げる	
経過8	A	脚の未展開に気付き、持ち上げロックをかける	
経過9	B・C	ロックを確認し、ストレッチャーを降ろす。	
経過10	A・B・C	病院へ収容(ストレッチャー移動)	
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

他隊(員)との連携活動がうまくいった。他隊(員)から適切な注意を受けた。その他 : 頭部側の2名がベテランであったため、事故を未然に防ぐことができた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

救急出動に対し、中途半端な慣れがあったものと思われる。

【事故発生後の取り組みについて】



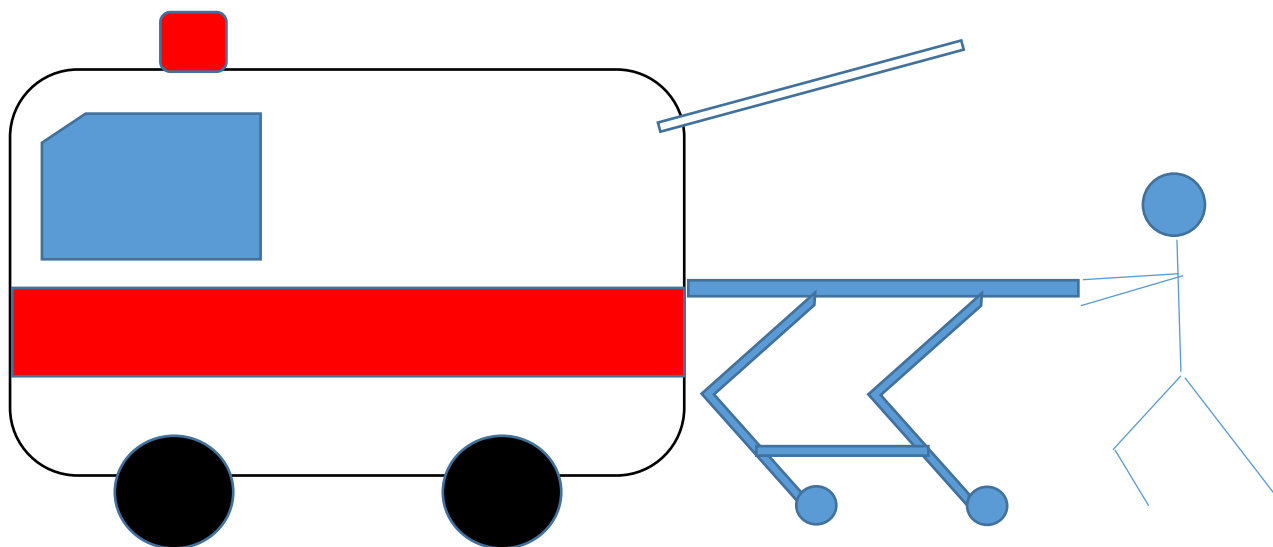
○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

病院到着時，救急ストレッチャーからの被救護者落下危機



足側の脚が十分に展開されていなかった。